

2016年度学術交流支援資金 外国語電子教材作成 報告書

総合政策学部 准教授 和田龍磨

科目名： 国際金融論 International Finance (GIGA)

概要

GIGA科目として開講されているInternational Financeでは、授業が英語で行われ、教科書には米国の標準的なマクロ経済学のテキストであるKrugman, Obstfeld, and Melitz “International Economics: Theory and Policy” が使用されている。本教材はこのテキストの副教材（スタディガイド）として使用されることを念頭に置いている。Krugman et al.によるテキスト問題点はいくつか挙げることができるが、まずデータがあまり豊富でないということである。この点については本教材で補完できるようになっている。また、教科書では英語の記述が必ずしも明快ではないため、簡略化されている部分についてはわかりやすい例を挙げるように努めた一方で、冗長な記述がある部分については箇条書きにまとめることで理解を促進するように努めた。さらに、省略されている計算や、前提とされている基本的なマクロ経済学の知識についても丁寧に解説し、教科書を補完している。このことにより、International Financeを履修するにあたり、マクロ経済I,IIの履修が必ずしも前提とされず、根気よく教科書及び本教材を読んで理解に努めることでInternational Financeを習得することができると期待される。

来年度以降、International Financeを履修する学生はあらかじめこの教材をダウンロードしておくことにより、予習復習を自分自身のペースで行うことが可能になる。さらに、この科目を履修すべきかを決める際にもこの教材が役立つだけでなく、マクロ経済学を学びたいという人の要求にもある程度こたえられるものになっている。

教材URL

<http://econ.sfc.keio.ac.jp/InternationalFinance.pdf>

内容（基本的にはテキストと同一である）

1. Introduction
2. National Income Accounting and the Balance of Payments
3. Exchange Rates and Foreign Exchange Market: An Asset Approach
4. Money, Interest Rates, and Exchange Rates
5. Price Levels and Exchange Rate in the Long Run
6. Output and the Exchange Rate in the Short Run
7. Fixed Exchange Rates and Foreign Exchange Intervention

今後の課題

来年度秋学期のInternational Financeの授業において使用するが、授業に合わせて不足点、改良点などが見当たると思うので、適宜改訂版を作成しURLに掲載する予定である。

昨年度本基金の補助を受けて作成された電子教材Macroeconomics 2については、本年度講義のすべてについてのビデオ撮影を行った。録画された講義については今後編集を経て電子教材の一部に組み込む予定であるが、本教材についても来年度以降に講義のビデオ撮影を行い、これもあわせて掲載する予定である。